

Mini Disclosure

2025年 3月期

第151期 ミニディスクロージャー誌

営業のご報告

2024年4月1日から2025年3月31日まで



静岡中央銀行



お客様・地域社会と共に発展し ベストパートナーとして信頼される銀行を目指して

皆さまには、日頃より静岡中央銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、静岡中央銀行をより一層ご理解いただき、さらに身近に感じていただくため、2025年3月期ミニディスクロージャー誌「第151期営業のご報告」を作成しましたので、ご一読いただければ幸いと存じます。

当行は、2024年4月より2年間を計画期間とする第15次中期経営計画「深化Ⅱ」～持続的成長に向けた挑戦～をスタートいたしました。

基本方針「お客様中心主義の深化」のもと、ビジネスモデルである「訪問頻度管理」を深化させ、お客様と地域に寄り添った支援を継続するとともに、外部環境・内部環境や認識する課題等を踏まえた新たな施策にも積極的に取り組むことで、地域金融機関として、「お客様・地域社会と共に発展しベストパートナーとして信頼される銀行」であることを役職員一丸となって目指してまいります。

今後も、皆さまのベストパートナーとして、幅広いニーズに迅速かつ適切に対応し、地域金融機関としての役割を十分に果たせるよう努めてまいりますので、皆さまにおかれましては、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月



取締役社長

小森 博史

取締役会長

清野 真司

当行の概要

- 名 称 株式会社静岡中央銀行
- 本店所在地 沼津市大手町4丁目76番地
- 設 立 1926年(大正15年)11月12日
- 資 本 金 20億円
- 店 舗 数 43店舗(うち出張所5)
- 従 業 員 数 416人

(2025年3月31日現在)

目 次

- ごあいさつ・当行の概要 …… 1
- 第15次中期経営計画 …… 2
- 業績ハイライト …… 3
- 地域の皆さまと共に …… 5
- 連結財務諸表 …… 11
- 単体財務諸表 …… 12
- 株式/役員/連結子会社の状況 …… 13
- 店舗のご案内 …… 14

- 当行は、2024年4月より第15次中期経営計画「深化Ⅱ」～持続的成長に向けた挑戦～をスタートいたしました。基本方針「お客様中心主義の深化」のもと、ビジネスモデルである訪問頻度管理を深化させ、外部環境・内部環境や認識する課題等を踏まえた新たな施策にも積極的に取り組むことで「お客様・地域社会と共に発展しベストパートナーとして信頼される銀行」を目指してまいります。



第15次中期経営計画

深化Ⅱ 持続的成長に向けた挑戦

期間/2024年4月～2026年3月(2年間)

経営理念

堅実で健全な経営

目指す銀行像

お客様・地域社会と共に発展し
ベストパートナーとして信頼される銀行

基本方針

お客様中心主義の深化
“ビジネスモデル＝訪問頻度管理”を深化させ、
お客様と地域に寄り添って
ニーズや課題に応える(解決する)ことで、共に発展を目指す。

行動指針

Passion(熱意)& Team support(チーム対応)

5つの基本戦略

I お客様中心主義の実践

1. 信頼される行動の実践
2. 3つのCCの実践
3. 利便性の高い商品・サービスの提供と課題解決支援の実践

II 営業改革の実践

1. 訪問頻度管理のステップアップ
2. 金融仲介機能の発揮と地域経済活性化への貢献
3. 預貸併進と真のメイン先の増加

III 業務改革の実践

1. 生産性向上と効率化に向けた業務改革
2. 経営資源の最適化とサステナビリティへの取り組み
3. 店舗戦略

IV 活力ある人事戦略

1. 人事制度改革、採用体制の強化と多様化
2. 挑戦する人材の育成、多様な人材の登用と活躍機会の拡大
3. 行員ロイヤルティ、働きがい向上による活力アップ

V 経営基盤の強化

1. 基礎的利益的持続的拡大
2. 安定的な有価証券収益の確保
3. 持続的成長の基礎となる経営管理の強化(創立100周年に向けた対応)

用語解説

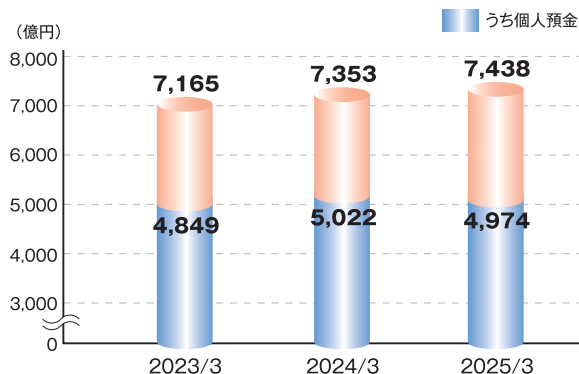
「CC」とは？

Customer Centric(カスタマーセントリック)の略語で、「お客様中心主義」を意味します。
「お客様(カスタマー)を中心(セントリック)に」物事を考え、判断し、行動することを指します。

■預金残高

～年間増加率1.1%～

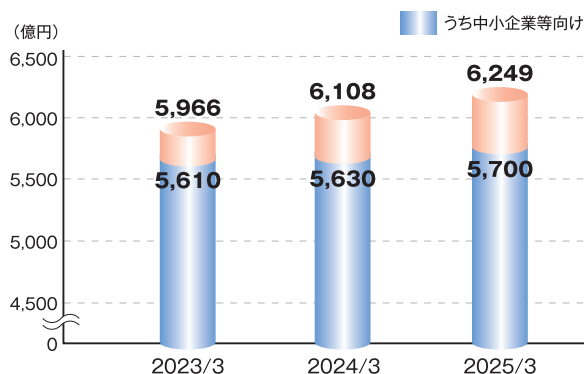
お客様のニーズやライフステージに応じたさまざまな金融商品・サービスの提供に努める等、お客様にメインバンクとしてご利用いただくことを目指して積極的な営業活動を展開したことにより、預金残高は前期末比84億円1.1%増加の7,438億円となりました。



■貸出金残高

～年間増加率2.3%～

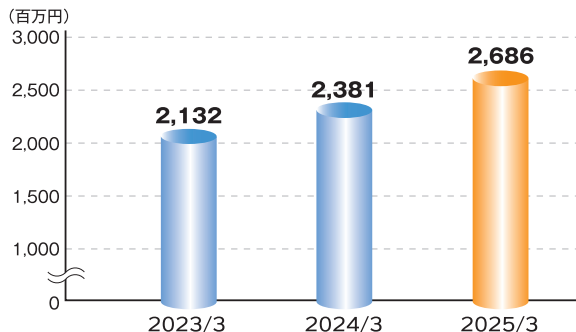
定期的な顧客訪問によって、お客様の経営課題解決の支援等に積極的に取り組むなど、金融仲介機能の発揮に努めたことにより、貸出金残高は前期末比141億円2.3%増加の6,249億円となりました。



■当期純利益

～4年連続の増益～

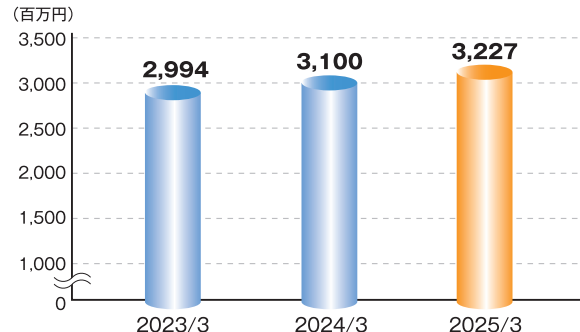
本業が堅調に推移したほか、与信費用が減少したこと等により、当期純利益は前期比3億5百万円12.8%増益の26億86百万円となりました。



■コア業務純益（除く投資信託解約損益）

～本業利益は着実に増加～

資金運用収益や役務取引等利益が増加するなど本業が堅調に推移したこと等により、本業の収益力を示す投資信託解約損益を除くコア業務純益は前期比1億26百万円4.0%増益の32億27百万円と堅調に推移しております。

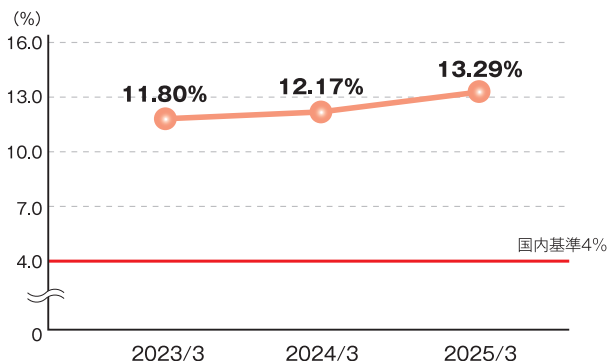


■自己資本比率（国内基準）

～高水準の自己資本比率を堅持～

自己資本比率は13.29%と国内基準4%を大きく上回り、高水準の自己資本比率を堅持しております。

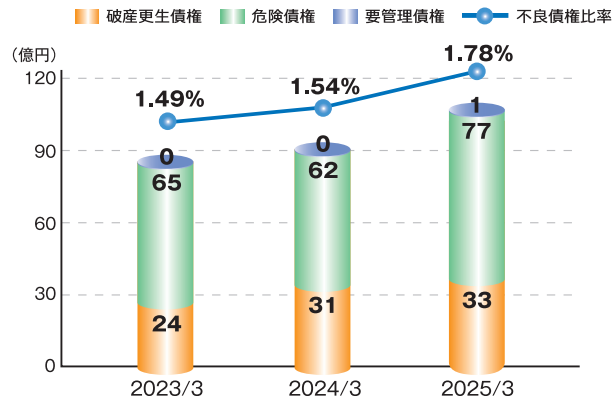
※2025年3月末より、バーゼルⅢ最終化を適用しております。



■不良債権の状況

～1%台 高い健全性を維持～

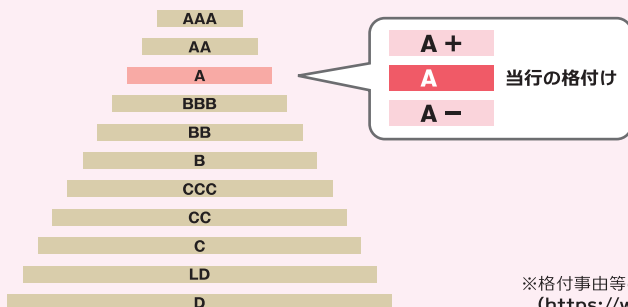
金融再生法開示債権およびリスク管理債権は112億16百万円となり、総与信残高に占める割合は1.78%となりました。なお、同債権の86.6%を担保等でカバーしており、高い健全性を維持しております。



■株式会社日本格付研究所（JCR）の格付取得について

当行は今般、株式会社日本格付研究所（JCR）から、長期発行体格付「A」（シングルA）を取得いたしました。

中立的な第三者機関から客観的な評価を取得することにより、株主、取引先をはじめとしたステークホルダーの皆さまに財務内容の健全性を広くご理解いただくとともに、経営の透明性と対外的な信用力を高め、持続的成長に向けた経営基盤の拡大を図ることを目的としています。



◇格付の内容

- 長期発行体格付 A（シングルA）
格付の見通し 安定的
- 格付機関
株式会社日本格付研究所（JCR）
- 格付公表日
2025年5月9日

※格付事由等の詳細につきましては、株式会社日本格付研究所ホームページ（<https://www.jcr.co.jp>）をご参照ください。

地域密着型金融の推進

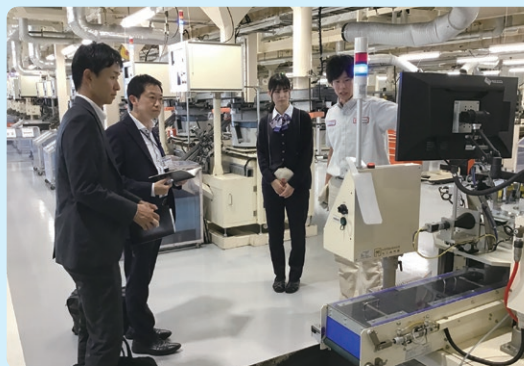
●事業性評価向上による本業支援とコンサルティング機能の発揮

本業支援による金融仲介機能の発揮

当行では、地域金融機関の使命として、従来以上にマーケティングや外部専門機関との連携を強化し、地域のお客様に対する円滑な資金供給、各種ソリューションの提供等により、金融仲介機能の発揮に努めております。

今後も「訪問頻度管理」によるお客様への定期的な訪問を徹底し、「本業支援ヒアリングシート」※を活用することで、取引先の事業内容やニーズ等の把握に努め、そのニーズに対する迅速な対応、各種情報提供等に積極的に取組んでまいります。

※取引先の事業性や成長可能性等を適切に評価し、助言・支援する当行独自のツール。



撮影協力：株式会社イズラシ

外部専門機関との連携強化 ～専門的ニーズに積極的に対応～

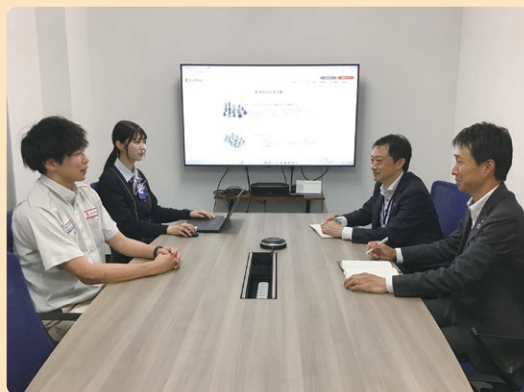
当行では、お客様の事業承継・M&A・相続・補助金申請サポート等、より専門的なニーズに対し、外部専門機関と連携しながら積極的に対応しております。

また、業務提携先・業務提携分野も順次拡大しており、2024年度は新たに6社の外部専門機関と業務提携契約を締結いたしました（2025年3月31日現在 79社と業務提携）。

今後も、地域金融機関としての役割を果たせるよう、お客様の課題解決のサポートに積極的に取組んでまいります。

提携分野

- | | |
|---------------|---------------|
| ① 相続・事業承継・M&A | ⑥ リース関連 |
| ② 補助金申請 | ⑦ システム導入関連 |
| ③ 人材紹介 | ⑧ 節税関連 |
| ④ 建設・不動産関係 | ⑨ 企業支援・コンサル関連 |
| ⑤ 販路開拓 | ⑩ 経費削減関連 他 |



撮影協力：株式会社イズラシ

●お客様に喜ばれる商品・サービスの提供

しずちゅうビジネスWEB 月額基本手数料無料キャンペーン実施

当行では、お客様のデジタル化や事務の効率化をサポートするため、2025年1月～6月に法人・個人事業主向けインターネットバンキングサービス「しずちゅうビジネスWEB」の「月額基本手数料無料キャンペーン」を実施いたしました。

しずちゅうビジネスWEBについて

- 来店不要でパソコンから、資金移動、残高照会、入出金明細照会等が可能
- 窓口やATMより振込手数料がお得
- ソフトのバージョンアップや金融機関コードの更新など、メンテナンス作業は不要。いつも最新のサービスをご利用いただけます。

「しずちゅうビジネスWEB」へのお申込みは随時受付中！

SHIZUOKA CHUO BANK

しずちゅうビジネスWEB 月額基本手数料無料 キャンペーン

特典 法人向けインターネットバンキング
月額基本手数料 6ヶ月間無料

キャンペーン期間: 2025年1月15日(水)～2025年6月30日(月)
キャンペーン期間中に下記いずれかの条件を満たす法人および個人事業主のお客様さま

対象のお客様さま

- 「しずちゅうビジネスWEBを新規にご契約されたお客様さま」(「しずちゅうビジネスWEB」の「月額基本手数料無料」のキャンペーン期間中に「しずちゅうビジネスWEB」を新規にご契約されたお客様さま)
- 「ファイル伝送なし」の契約から「ファイル伝送あり」の契約へご変更されたお客様さま

※ご契約の「ファイル伝送なし」の契約は、キャンペーン期間中に限り有効です。
※「ファイル伝送あり」の契約は、キャンペーン期間中に限り有効です。
※「ファイル伝送なし」の契約は、キャンペーン期間中に限り有効です。
※「ファイル伝送あり」の契約は、キャンペーン期間中に限り有効です。

しずちゅうビジネスWEBについて

- 来店不要でパソコンから、資金移動、残高照会、入出金明細照会等が可能
- 窓口やATMより振込手数料がお得

しずちゅうビジネスWEB 月額基本手数料 (税込)

ファイル伝送あり	3,300円
ファイル伝送なし	1,100円

「ファイル伝送あり」契約された方は、無料期間内(ファイル伝送(前・後)各3回以上利用した場合)より1回以上の振込があった場合は、さらに6ヶ月間月額基本手数料無料！

静岡中央銀行 0120-421-086

「しずちゅう給与振込キャンペーン」実施中！！

当行では、2025年2月より、当行口座に給与振込を新たに指定していただいたお客様を対象に、「しずちゅう給与振込キャンペーン」を実施しております。

当行口座に給与振込をご指定いただくと、オートローン等のローン金利の引下げや、金利を上乗せした定期預金(しずちゅうパートナー定期預金)をご利用いただけます。

- キャンペーン期間: 2025年2月3日～2025年7月31日
- 対象のお客様: 以下2つの条件を満たしたお客様
 - ①実施期間中、当行口座に給与振込を新たに指定していただき、月額2万円以上の給与振込が2回以上確認できた方
 - ②静岡中央銀行「かんたん通帳」アプリをダウンロードし、給与振込口座を連携された方
(※2025年7月31日時点で連携が確認できる方)
- 対象者全員に現金1,500円をプレゼント

しずちゅう
給与振込
キャンペーン 2025

キャンペーン期間: 2025年2月3日(月)～7月31日(木)

対象条件を満たす個人のお客様は、**現金1,500円プレゼント**

対象条件

- 条件1: 実施期間中、当行口座に給与振込を新たに指定していただき、月額2万円以上の給与振込が2回以上確認できた方
- 条件2: 「かんたん通帳」アプリをダウンロードし、給与振込口座を連携された方

詳しい対象条件は、画面をご覧ください

しずちゅうで給与振込すると、こんなにオトク！

- ①ロー金利のオートローン
- ②定期預金の金利アップ

静岡中央銀行 / コンビニATMおトク

●地域に根差した地域貢献活動の取組み

三島市との協働事業イベント開催

当行では、地方公共団体との「地方創生に係る協定」に基づき、様々な共催イベントを開催しております。

2025年1月には、三島市との協働事業である「高齢社会における安心・健康生活」セミナーを開催し、三島市にお住まいの方をはじめ、多くの方々に参加いただきました。

今後も、地域社会の発展に貢献できるよう努めてまいります。



「しずちゅう旗静岡県学童軟式野球大会」開催

当行では、2012年より学童の心身の健全な育成支援のため、「しずちゅう旗静岡県学童軟式野球大会」（「静岡県野球連盟」及び「静岡県野球連盟少年部」主催）に特別協賛しております。

2024年度は、「第12回」大会を開催し、3日間にわたる熱戦が繰り広げられました。

第13回しずちゅう旗静岡県学童軟式野球大会

会期：2025年6月28日・29日、7月5日

会場：天城ふるさと広場野球場他



第12回大会優勝チーム 中泉クラブスポーツ少年団

「富士山フォトコンテスト」開催

当行では、1958年以来、富士山の風景写真を使用したカレンダーを毎年発行しており、大変ご好評をいただいております。

また、2011年5月より“ふじのくに”静岡の魅力を県内外に紹介し、地域活性化を目的として、当行のカレンダーに使用する富士山の写真を募集するフォトコンテストを開催しております。

2026年カレンダー分

2025年7月31日（木）まで募集中



サステナビリティへの取り組み

2023年4月に「サステナビリティ方針」を策定し、当行のサステナビリティに対する基本的な考え方を明示いたしました。本方針に則り、今後も持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

サステナビリティ方針

静岡中央銀行は、経営理念「堅実で健全な経営」に基づく企業活動を通じて、気候変動・環境問題等の社会的課題の解決に取り組み、地域経済の発展と当行の企業価値向上を目指すとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

●SDGsへの取り組み

静岡中央銀行SDGs宣言

静岡中央銀行は、国際連合が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）の趣旨に賛同し、経営理念「堅実で健全な経営」のもと、企業活動を通じて地域の課題解決と持続可能な社会の実現に努めてまいります。

重点取組方針

【地域経済の持続的発展への貢献】

お客様のベストパートナーとして、金融仲介機能を発揮し、地域企業や地域経済の持続的発展に貢献してまいります。

【多様な人材の活躍】

すべての役職員が活躍できるよう、環境整備、人材育成に取組んでまいります。

【地域の環境保全】

お客様の環境保全に向けた取組みを支援し、自らも環境負荷低減に向けた取組みを推進してまいります。

対応するSDGs目標

【地域経済の持続的発展への貢献】



【多様な人材の活躍】



【地域の環境保全】



●気候変動への対応

「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言」への取り組み

2022年7月に「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言」への賛同を表明し、気候変動・環境問題への取り組みを強化するとともに、TCFD提言を踏まえた気候変動リスク・機会に関連する情報開示の充実にも努めてまいります。

■CO2 排出量削減

定 義	Scope1およびScope2※1に該当するCO2排出量
目 標	(中間目標) 2030年度までに2013年度比▲46% 2035年度までに2013年度比▲60% 2040年度までに2013年度比▲73% (最終目標) 2050年度までにカーボンニュートラル実現
実 績	2024年度実績 2013年度比▲28.7%

※1

Scope1：(直接排出) 車両によるガソリン使用、ガスの使用

Scope2：(間接排出) 電気の使用

■サステナブル関連投融資

定 義	気候変動・環境問題等の社会的課題の解決に向けた取り組みを支援・促進する投融資
目 標	2023年度から2030年度までに500億円
実 績	2023年度から2024年度までの実績 228億円（2024年度実績：99億円）

●人的資本への取り組み

「女性活躍推進企業」に認定

2024年7月11日付で静岡労働局長より、女性活躍推進法に基づく認定マーク「えるぼし（2段階目）」を取得いたしました。

これは、当行が女性の働きやすい環境の整備やキャリアアップ支援への取組が優良な企業として認められたものです。

当行では、今後も多様な人材の成長・活躍を促進し、お客様・地域社会とともに発展し、ベストパートナーとして信頼される銀行を目指してまいります。



第151期連結貸借対照表
(2025年3月31日現在)

(単位：百万円)	
科 目	金 額
資産の部	
現金預け金	94,939
有価証券	139,960
貸出金	624,985
その他資産	4,008
有形固定資産	8,402
無形固定資産	589
退職給付に係る資産	97
繰延税金資産	0
支払承認見返	1,391
貸倒引当金	△4,006
資産の部合計	870,369
負債の部	
預金	741,771
借入金	49,100
その他負債	5,694
賞与引当金	375
役員賞与引当金	54
退職給付に係る負債	20
役員退職慰労引当金	741
偶発損失引当金	321
繰延税金負債	2,106
再評価に係る繰延税金負債	1,329
支払承諾	1,391
負債の部合計	802,906
純資産の部	
資本金	2,000
資本剰余金	0
利益剰余金	52,379
株主資本合計	54,381
その他有価証券評価差額金	9,947
土地再評価差額金	3,055
退職給付に係る調整累計額	79
その他の包括利益累計額合計	13,082
純資産の部合計	67,463
負債及び純資産の部合計	870,369

第151期連結損益計算書
(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位：百万円)	
科 目	金 額
経常収益	14,163
資金運用収益	11,263
（うち貸出金利息）	9,033
（うち有価証券利息配当金）	2,065
役務取引等収益	1,607
その他業務収益	—
その他経常収益	1,292
経常費用	10,176
資金調達費用	801
（うち預金利息）	794
役務取引等費用	1,549
その他業務費用	175
営業経費	7,202
その他経常費用	447
経常利益	3,986
特別利益	—
固定資産処分益	—
特別損失	44
固定資産処分損	44
税金等調整前当期純利益	3,942
法人税、住民税及び事業税	876
法人税等調整額	233
法人税等合計	1,109
当期純利益	2,832
親会社株主に帰属する当期純利益	2,832

第151期連結株主資本等変動計算書
(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

科 目	株 主 資 本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	2,000	0	49,667	51,668
当期変動額				
剰余金の配当			△120	△120
親会社株主に帰属する当期純利益			2,832	2,832
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）				
当期変動額合計	—	—	2,712	2,712
当期末残高	2,000	0	52,379	54,381

科 目	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	11,529	3,055	119	14,704	66,373
当期変動額					
剰余金の配当					△120
親会社株主に帰属する当期純利益					2,832
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△1,581		△40	△1,622	△1,622
当期変動額合計	△1,581	—	△40	△1,622	1,090
当期末残高	9,947	3,055	79	13,082	67,463

第151期貸借対照表
(2025年3月31日現在)

(単位：百万円)	
科 目	金 額
資産の部	
現金預け金	94,939
有価証券	138,744
貸出金	624,985
その他資産	3,942
有形固定資産	8,247
無形固定資産	588
支払承諾見返	1,391
貸倒引当金	△3,895
資産の部合計	868,945
負債の部	
預金	743,855
借入金	49,100
その他負債	4,120
賞与引当金	375
役員賞与引当金	54
退職給付引当金	36
役員退職慰労引当金	741
偶発損失引当金	321
繰延税金負債	1,999
再評価に係る繰延税金負債	1,329
支払承諾	1,391
負債の部合計	803,325
純資産の部	
資本金	2,000
資本剰余金	0
利益剰余金	50,861
株主資本合計	52,862
その他有価証券評価差額金	9,702
土地再評価差額金	3,055
評価・換算差額等合計	12,757
純資産の部合計	65,620
負債及び純資産の部合計	868,945

第151期損益計算書
(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位：百万円)	
科 目	金 額
経常収益	14,052
資金運用収益	11,253
（うち貸出金利息）	9,033
（うち有価証券利息配当金）	2,056
役務取引等収益	1,476
その他業務収益	—
その他経常収益	1,322
経常費用	10,279
資金調達費用	802
（うち預金利息）	794
役務取引等費用	1,689
その他業務費用	175
営業経費	7,165
その他経常費用	447
経常利益	3,772
特別利益	—
固定資産処分益	—
特別損失	43
固定資産処分損	43
税引前当期純利益	3,729
法人税、住民税及び事業税	814
法人税等調整額	227
法人税等合計	1,042
当期純利益	2,686

第151期株主資本等変動計算書
(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位：百万円)										
科 目	株 主 資 本									
	資本金	資本剰余金		利益剰余金						株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計	
		役員退職積立金	有価証券評価準備積立金	別途積立金	繰越利益剰余金					
当期首残高	2,000	0	0	2,000	1,000	2,750	39,608	2,935	48,294	50,295
当期変動額										
剰余金の配当								△120	△120	△120
別途積立金の積立							2,200	△2,200	—	—
当期純利益								2,686	2,686	2,686
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	2,200	366	2,566	2,566
当期末残高	2,000	0	0	2,000	1,000	2,750	41,808	3,302	50,861	52,862

科 目	評 価 ・ 換 算 差 額 等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	11,078	3,055	14,133	64,429
当期変動額				
剰余金の配当				△120
別途積立金の積立				—
当期純利益				2,686
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△1,376		△1,376	△1,376
当期変動額合計	△1,376	—	△1,376	1,190
当期末残高	9,702	3,055	12,757	65,620

株式の状況 (2025年3月31日現在)

- ・発行する株式の総数 96,000千株
- ・発行済株式の総数 24,000千株
- ・株主数 1,449名

大株主の状況 (2025年3月31日現在)

株主の氏名または名称	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
損害保険ジャパン株式会社	2,539	10.58
静岡中央銀行行員持株会	1,654	6.89
東京海上日動火災保険株式会社	1,385	5.77
株式会社三菱UFJ銀行	1,200	5.00
株式会社大林組	1,200	5.00
野村ホールディングス株式会社	1,200	5.00
三信株式会社	1,200	5.00
オークラヤ住宅株式会社	1,200	5.00
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,148	4.78
東洋電機製造株式会社	1,110	4.62

株式のご案内

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月に開催予定
- 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話0120-232-711 (フリーダイヤル)
- 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

役員の状況 (2025年3月31日現在)

代表取締役会長	清 野 眞 司
代表取締役社長	小 森 博 史
代表取締役専務	林 道 弘
常 務 取 締 役	芦 川 哲 也
常 務 取 締 役	野 中 久 記
常 務 取 締 役	青 島 厚 志
常 務 取 締 役	守 分 宏 一
常 務 取 締 役	浅 賀 友 秋
取 締 役	渡 邊 芳 和
取 締 役	金 子 良 雄
取 締 役	名 波 忠 広
取 締 役	増 田 和 彦
取 締 役	内 海 順 太
取 締 役	平 山 浩 二
取 締 役	森 陽 介
取 締 役	澤 田 武 嗣
取締役(社外取締役)	藤 田 燈
常 勤 監 査 役	土 居 敏 彦
常 勤 監 査 役	那 須 田 研 二
監査役(社外監査役)	林 宣 男
監査役(社外監査役)	熱 田 稔 敬

連結子会社の状況 (2025年3月31日現在)

名 称	所在地	主な業務内容	資本金
静岡中央信用保証株式会社	沼津市上土町14番地	信用保証・調査業務	330百万円
岳洋産業株式会社	沼津市大手町4丁目76番地	静岡中央銀行への不動産賃貸及びATM精査業務	10百万円

“お客様・地域社会と共に発展しベストパートナー
として信頼される銀行”を目指します。



静岡中央銀行

表紙の 写真

2025年カレンダー 富士山フォトコンテスト
最優秀賞「雲の切れ間」山本 武正氏 撮影

どこから眺めても美しい「世界文化遺産の霊峰富士山」。荒々しい
宝永火口を画面正面に配した構図は実にダイナミックです。
うっすらと雪をかぶった山頂、裾野の紅葉が火口まで赤く染め、
美しさを増しています。

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



環境に配慮し、植物インクを
使用しています。

THE SHIZUOKACHUO BANK, LTD.

■発行 2025年6月

株式会社静岡中央銀行/経営管理部
〒410-0801 沼津市大手町4丁目76番地
TEL. 055-962-6113

■ホームページアドレス

<https://www.shizuokachuo-bank.co.jp/>